

# 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ 負のスパイラルを断ち切るために (part II)

## 第三の感染症【差別】はなぜ生まれるのか？

### 新型コロナウイルスの3つの顔

#### 第1の感染症



「病気」

#### 第2の感染症



「不安」

#### 第3の感染症



「差別」

### 3つ感染症の正体は何か？

注目

第1の感染症は、「**病気そのもの**」です。感染すると重症化して肺炎を起こすことがあります。

第1の感染症  
「**病気**」

第2の感染症は、「**不安と恐れ**」です。ウイルスが見えないことやワクチン等が開発されていないために強い不安や恐れを感じます。

第2の感染症  
「**不安**」

第3の感染症は、「**嫌悪・偏見・差別**」です。不安や恐れや人間の生き延びようとする本能を刺激し、ウイルス感染に関わる人や対象を遠ざけます。

第3の感染症  
「**差別**」

## なぜ【嫌悪・偏見・差別】は生まれるのか？

見えない敵（ウイルス）への不安

敵はウイルスである

特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする

敵がすり替わってしまう

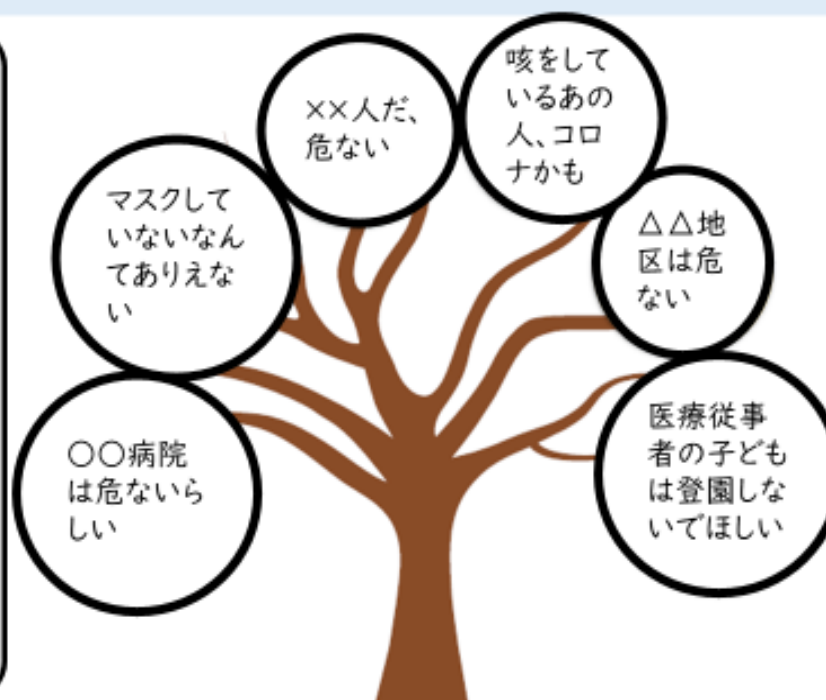
嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることで束の間の安心感が得られる

本当の敵が見えなくなってしまう

知らないうちに、本来の敵である【ウイルス】がすり替わり、見えなくなってしまうことは、人と人の信頼関係や社会とのつながりを壊してしまいます。

## どのようにして【差別】の樹は育っていくのか？

この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるのです。



特定の人・地域・職業などに対して「危険」「ばい菌」といったレッテルを貼る心理によって差別や偏見は起こります。

ウイルスを遠ざけたいという心理

感染への不安・恐れ

特定の対象をウイルスと関連付ける心理

生き延びようとする本能